

ATIS 総会・第 380 回例会報告

今回は例会後設立 35 周年記念行事を開催する内容で、新横浜プリンスホテル 3F ファンタジアにて、113 名の参加を得て、臨時総会・例会を開催しました。なお、設立 35 周年記念行事に関しましては別途報告致します。

臨時総会では、平成 28 年度幹事候補の承認が諮られ、継続幹事 4 名に加えて、新任幹事 8 名が提案・紹介され、承認されました。

例会では代表幹事報告に引き続き、6 つの分科会から年間活動報告が行われました。分科会報告では、参加していない会員の方々にも活動内容が理解されるように、可能な限り活動事例を交えて紹介を頂きました。どの分科会報告もどのような活動でどのような成果が得られているのか、不参加の会員にも魅力ある活動していることが伝わり、多くの好評価の声を聞きました。分科会報告の要旨は以下の通りです。なお、各分科会は次年度も継続となります。

1) 調査分科会 (18 社参加) リーダー: キヤノン技術情報サービス(株)池田 氏

参加各社の調査事業紹介、各社からの提案テーマの集中討議、特許庁との意見交換等が行われました。その中で最も関心の高かった「調査品質」テーマを事例に報告がありました。なお、実務系と管理系のテーマが混在した討議には課題も残り、次年度は調査業務運営 Gr と調査技術 Gr に分けて活動することになります。

2) 知財分社経営分科会 (18 社→17 社参加) リーダー: (株)サンスタッフ梅原 氏

意見交換シートと課題のまとめを行い参加各社の情報共有を図り、就業形態や業務内容、業務分担など関心の高いテーマによる意見交換を行いました。特に、将来の分社の課題 10 年先を睨み、在宅勤務に関するアンケート調査結果を踏まえて、5 月例会でのパネル討論でも取り上げました。また、恒例となった若手分科会との意見交換も有意義であったとの報告でした。

3) コーポレートサポート分科会 (12 社参加) リーダー: キヤノン技術情報サービス(株)生田 氏

総務部門の集まりで、人事諸制度、処遇体系、人事育成等全般の情報交換、防災、BCP、障害者就労支援、コンプライアンス、情報セキュリティ、経理不正防止、法改正等トピックスなどのテーマで意見交換が行われました。また、関連見学会(知財高裁、住友電工知財テクノセンター)や講演(発達障がいセミナー)も実施しました。

4) 特許情報研究分科会 (11 社 12 名参加) サブリーダー: (株)RWS グループ 原氏、日本パテントデータサービス(株)早川氏

他の分科会と異なり年間 6 回開催で、また賛助会員(ベンダー)と正会員(ユーザー)が参加することを活かし、最新の世界の特許情報そのもの、データベース研究、特許庁との意見交換など行われました。次年度は AI の可能性、商標の掘り下げを予定したいとの紹介がありました。

5) 新興国の知財調査分科会 (7 社 8 名) リーダー: 神鋼リサーチ(株) 西 氏

パテントクリアランスをキーワードにして、特許出願が増加してきている ASEAN の新興国の特許情報の状況など調査収集し共有化を討議しています。今回はベトナムとインドネシアを訪問して

現地調査を実施し、その概要を中心に報告がありました。なお、本調査結果については、9月例会にて報告を頂く予定です。

6) 若手による意見交換分科会 (9社 10名参加) リーダー:NTTアドバンステクノロジー(株)戸島氏
活動方法の紹介後、参加者一人ひとりから自分の業務における課題を抽出・提示し、分科会での意見交換で解決策を検討、対策を実施した結果について、生き生きとしたプレゼンがありました。一人ひとり短いプレゼンでしたが、課題認識・発見に始まり、成果を得るプロセスを通して参加した意義が伝わるものでありました。



各分科会いずれも、次年度も一層活発な討議が行われ、参加者に有効な情報獲得や刺激になる活動が期待されるものでした。

以上